

グローバル化の進展により企業間競争が激化する中、日本のモノづくりは、量から質への転換が求められている。そのため、モノづくりでは、技術だけでなく、感性やデザイン力も必要となってきた。こうした状況を踏まえ、今回のシンポジウムではテーマとして「食と芸術」を取り上げ、それを通してモノづくりの精神や感性をどのように育むか、人材育成の視点から考えてみたい。「食」は五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を刺激し、時に感動を与える行為である。また、「食」はモノづくりに通じており、日本の食文化は「感性を育む」という点において世界で秀逸といわれている。これらを切り口として子どもたちの中にモノづくりの精神や感性を育むことの大切さを捉えなおす機会としたい。



食と芸術

～モノづくり精神と感性を育む人づくり～

2009年10月7日(水) 16時開場
京都造形芸術大学 京都芸術劇場「春秋座」

シンポジウム概要

●日時

2009年10月7日(水)

シンポジウム(基調講演、パネルディスカッション)

:16時開場、16時30分開会、19時終了

レセプション:19時30分開始、20時30分終了予定

●内容

1. 基調講演

「食と芸術 ～モノづくり精神と感性を育む人づくり～」

千住 博氏

2. パネルディスカッション

千住 博氏

門川 大作氏

徳岡 邦夫氏

小川 理子氏

3. レセプション (徳岡邦夫氏にもご協力いただく予定です。)

●参加費

無料 ※レセプションに参加の場合は2000円が必要

(学生1000円)

登壇者

千住 博氏

京都造形芸術大学学長

同大学附属康耀堂美術館館長

日本画家 1958年1月東京都生まれ

東京芸術大学美術学部日本画科卒

同大学大学院博士課程修了

代表作に

「フラット・ウォーター」シリーズ

「ウォーターフォール(滝)」シリーズなど



撮影 山口和也

門川 大作氏

京都市長



徳岡 邦夫氏

京都吉兆代表取締役・料理家

撮影 山口規子



小川 理子氏

パナソニック

社会文化グループマネージャー



お申込み方法 : FAXもしくはメールにて申込みください。

締め切り : 10月1日(木)まで

申込み先 : 京都教育懇話会 事務局

FAX : 075-813-8293

メール : konwakai@st.ritsumei.ac.jp

お問合せ : お申込みに関する事項 : 京都教育懇話会事務局 (学校法人立命館一貫教育課内)

075-813-8292

イベントに関する事項 : 京都文藝復興倶楽部事務局 (京都造形芸術大学内)

075-791-9192